

2022 年度

農検 3 級

日本農業検定 3 級試験問題

全 50 問

試験時間 50 分

注意事項

※監督者の指示があるまで、この問題を開いてはいけません。

※問題冊子の持ち帰りはできません。

空白ページ

問 1 農業・農村のもついろいろな働きについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①田畑の土が雨水の受け皿となって、洪水を防止している。
 - ②美しい農村の風景は人々の心を和ませてくれる。
 - ③田畑の作物にはいろいろな害虫が集まってくるので、生物多様性は壊されている。
 - ④農家が先生になって、米づくりなどを体験させる「食農体験活動」が全国的に広がっている。
-

問 2 農業就業人口についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①農業就業人口とは、農業のみに従事している人の数である。
 - ②2019年の農業就業人口は170万人を切った。
 - ③2019年の農業就業人口のうち65歳以上の人の割合は60%であった。
-

問 3 農産物直売所についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①これまでの市場出荷だけだった流通の仕組みを大きく変え、地産地消の多品目販売の場となっている。
 - ②2017年には、全国の年間総販売金額は1兆円を突破した。
 - ③少量でも出荷できるが、価格は直売所側が決めるため、市場出荷より収入は低くなりがちである。
 - ④店頭での食べ方の紹介などを通じ、農家と消費者との交流が生まれ、農家の活躍の場になっている。
-

問 4 食料自給率についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①食料自給率とは1人1日あたりに供給される食べ物全体うちで、どのくらい国内で作られているかを示す指標である。
 - ②2018年度の日本のカロリーベースの食料自給率は37%であった。
 - ③主要先進国のうちで最も食料自給率が高いのはアメリカである。
-

問5 農地と耕作放棄地についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①日本の全農地面積は1961年の609万haをピークに減少を続けている。
 - ②2019年の全農地面積を田と畑で比べると、畑の面積が田の面積より多かった。
 - ③耕作放棄地の面積は2015年には42万haに達した。
 - ④耕作放棄地が発生する原因は農家の「高齢化、労働力不足」が最も多い。
-

問6 野生鳥獣による農作物被害についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①2018年度の野生鳥獣による全国の被害総額は、200億円を超えた。
 - ②2018年度の野生鳥獣による全国の被害総額で最も多かったのはカラスによるものであった。
 - ③鳥獣害が増えると営農意欲が減退するために耕作放棄地が増え、耕作放棄地が増えると鳥獣害が増えるという関係がある。
-

問7 地球温暖化についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①温室効果ガス全体の6割を占める二酸化炭素の主な発生原因は、石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の燃焼である。
 - ②2018年までの50年間で、世界の一次エネルギーの消費量は、およそ3.7倍に増加している。
 - ③地球温暖化によって日本では、日最低気温25℃以上の熱帯夜が増加傾向を示している。
 - ④地球温暖化が進むと、いもち病の激発地帯が全国に広がることが懸念されている。
-

問8 パリ協定についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①パリ協定は、2016年以降の温室効果ガスを削減するための国際的な取り決めである。
 - ②世界の平均気温の上昇幅を産業革命以前の水準に比べ1℃以内に抑えることが目標の一つになっている。
 - ③21世紀後半には、温室効果ガス排出量と森林などによる吸収量のバランスがとれるようにすることが目標の一つになっている。
-

問 9 生物多様性についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①生物多様性は、「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」の3つの階層に分けて考えられている。
 - ②「種の多様性」とは、自然環境の中でいろいろな動植物がかかわり合って生きている状態をいう。
 - ③「遺伝子の多様性」とは、いろいろな動植物が数多く共存している状態をいう。
-

問 10 地産地消についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①地産地消とは、地域の生産者と地域の消費者が地域の農業について話し合う機会を持つことをいう。
 - ②生産者にとっては、流通経費の削減によって、収益の向上が望める。
 - ③消費者にとっては、新鮮で安価な農産物を得ることができる。
 - ④地域の食文化についての理解を深めることにつながる。
-

問 11 フード・マイレージについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①フード・マイレージとは、イギリスで考え出された食料輸送にともなう環境負荷にかかわる指標である。
 - ②フード・マイレージは、「食料の輸送量(ton)」×「生産地から消費地までの輸送時間(h)」で計算される。
 - ③2001年のデータでは、日本のフード・マイレージの値はアメリカの約3倍になっている。
 - ④フード・マイレージの数値が小さければ小さいほど、輸送で排出される二酸化炭素の量が多いことになる。
-

問 12 都市農業の役割についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①農水省の令和元年の報告では、市街化区域内農地は全国の農地の0.5%ほどだった。
 - ②都市と農業を結びつけている農産物直売所は、2018年には、全国で2万3000カ所以上にのぼった。
 - ③都市農業は、災害時の一時避難場所や火災の延焼を防ぐ緩衝地帯など防災のオープンスペースとしての役割を持っている。
-

問 1 3 肥満の原因と予防に関する説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①基礎代謝量とは、安静な状態で生命維持に使われる必要最小限のエネルギー代謝量である。
 - ②18歳以上になると年齢を重ねても基礎代謝量は変化しない。
 - ③夜遅い時間帯での食事は、食べたものが貯蔵エネルギーになりやすいとされている。
 - ④体重 60kg の成人が 10 分間水泳を行った場合と 10 分間速歩を行なった場合を比較すると、水泳を行なった場合の方が消費エネルギーは多い。
-

問 1 4 五大栄養素についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①三大栄養素にビタミンと食物繊維を加えたものを五大栄養素と呼ぶ。
 - ②炭水化物は糖質と無機質の総称である。
 - ③タンパク質は主に筋肉や臓器、血の材料となる。
 - ④脂質は主に体の調子を整える働きがある。
-

問 1 5 体内の水分についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①水分は体内で大変重要な働きをしており、栄養素の一つである。
 - ②水分は体温を調節する働きをしている。
 - ③成人の体重のうち 50～60%が水分である。
-

問 1 6 調理に使われるだしについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①昆布(こんぶ)だしの主なうま味成分はイノシン酸である。
 - ②かつお節だしの主なうま味成分はグルタミン酸である。
 - ③かつお節だしの二番だしは煮物や味噌汁などに向くとされている。
 - ④かつお節と昆布の混合だしは、かつお節のだしを先にとり、そこに昆布を入れて 1 分間沸騰させてとるのが一般的である。
-

問 1 7 野菜の旬の季節について、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①フキの旬は春である。
 - ②ゴボウの旬は夏である。
 - ③サツマイモの旬は秋である。
 - ④ホウレンソウの旬は冬である。
-

問 1 8 微生物と発酵食品との関わりについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①酢酸菌は味噌の製造に関わっている。
 - ②乳酸菌はしょう油の製造に関わっている。
 - ③麹菌はみりんの製造に関わっている。
 - ④酵母菌は日本酒の製造に関わっている。
-

問 1 9 生鮮食品の選び方についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①豚肉は古くなると黄色っぽくなるので、そのようなものは避けて選ぶ。
 - ②魚を選ぶときは、身が柔らかく、目に透明感があり、エラが暗赤色のものを選ぶ。
 - ③野菜を選ぶときは、みずみずしく、色鮮やかでつやがあり、つぶれていないものを選ぶ。
-

問 2 0 生鮮食品の表示についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①野菜・果物には名称、原産地が表示されている。
 - ②輸入品の肉には「原産国名」が表示されている。
 - ③冷凍を解凍した魚には「冷凍」と表示されている。
-

問 2 1 野菜の切り方についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①輪切りはいも類、にんじんなどを煮物、汁物にするときによく使われる。
 - ②せん切りはごぼう、筍などを汁物にするときによく使われる。
 - ③みじん切りは大根、にんじんなどを和え物にするときによく使われる。
 - ④小口切りは、ごぼうをきんぴらにするときによく使われる。
-

問 2 2 消費期限と賞味期限についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①賞味期限は、おいしく食べられる期限のことである。
 - ②消費期限は、安全に食べられる期限のことである。
 - ③賞味期限は、品質の劣化が比較的早い食品に表示される。
-

問 2 3 発芽に必要な要素として、正しいものは次のうちどれですか。

- ①水、空気（酸素）、温度（適温）、肥料（養分）の4つである。
 - ②水、空気（酸素）、温度（適温）、光の4つである。
 - ③水、空気（酸素）、温度（適温）の3つである。
 - ④水、温度（適温）、光の3つである。
-

問 2 4 種子の発芽適温についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①種子の発芽適温は野菜の種類によって異なるが、20～25℃の範囲に入るものが多い。
 - ②レタスやダイコンは15℃でも発芽適温の範囲に入る。
 - ③キュウリやカボチャの発芽適温の範囲は、25～30℃と高い。
 - ④地温が発芽適温に達しない場合は、透明マルチを張るより黒色マルチを張った方が地温が上がる。
-

問 2 5 嫌光性種子と好光性種子についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①嫌光性種子は、発芽のときに光が当たると発芽が抑えられる種子である。
 - ②好光性種子は、発芽のときに光が当たると発芽しやすくなる種子である。
 - ③嫌光性種子、好光性種子に関わらず、種まきした後には種の2～3倍の厚さに覆土することが大切である。
-

問 2 6 野菜の原産地についての説明で、正しいものはどれですか。

- ①ナスの原産地は東南アジアのベトナムである。
 - ②トマトの原産地は地中海沿岸のイタリアである。
 - ③キュウリの原産地はヒマラヤ山麓（インド付近）である。
 - ④アシタバの原産地はオーストラリアである。
-

問 2 7 光合成についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①光合成は、光のエネルギーを使い、葉の細胞にある葉緑体の中で行われている。
 - ②光合成には、原料として水と酸素が必要である。
 - ③作物の収量や品質を高めるには、光合成量を多くする栽培管理が必要である。
-

問 2 8 植物の呼吸についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①植物は呼吸によって、体の維持と成長に必要な「生命活動エネルギー」をつくり出している。
 - ②植物は光合成をしている間は呼吸を休み、呼吸をしている間は光合成を休んでいる。
 - ③植物は呼吸によって空気中の酸素を体内に取り込み、二酸化炭素を体外に放出している。
-

問 2 9 気孔(きこう)についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①気孔は、おもに葉の表側にある小さな組織で、一对の孔辺細胞できている。
 - ②気孔は光合成のときの酸素の取り入れ口となっている。
 - ③根から吸い上げられた水は茎を通過して葉まで届き、気孔から水蒸気として放出される。
-

問 3 0 肥料の3要素についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①窒素は主に葉や茎の伸長を促す養分である。
 - ②リン酸は主に根の発達を促し、根や茎を丈夫にする養分である。
 - ③カリウム(カリ)は主に開花や結実をよくする養分である。
-

問 3 1 有機質肥料についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①油かすは天ぷら製造の際に発生する天かすを肥料にしたものである。
 - ②骨粉には肥料成分(要素)のうち、リン酸が多く含まれている。
 - ③有機質肥料の草木灰には窒素分が多く含まれている。
 - ④魚かすにはカリウム(カリ)が多く含まれている。
-

問 3 2 作物の生育に適した土壌酸度 (pH) についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①土壌酸度 (pH) は 10 段階で表示され、pH 7 が中性で、それ未満がアルカリ性、それ以上が酸性に区分される。
 - ②サツマイモやジャガイモは、pH が高い土壌を好む作物である。
 - ③ホウレンソウは、土壌の酸性に弱い野菜である。
 - ④pH が高い土壌には、石灰をまくことで、土壌の pH を下げることができる。
-

問 3 3 野菜の病気についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①野菜の病害の原因には、カビ（糸状菌）、細菌、ウイルスによるものがある。
 - ②発生する病害のおよそ8割が、ウイルスによるものだといわれている。
 - ③うどんこ病は、梅雨明け後などの乾燥した環境で発生しやすい。
 - ④ウイルス病の防除には、ウイルス病を媒介するアブラムシの飛来防止が有効である。
-

問 3 4 害虫の防除についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①天敵を活用して、害虫の生育密度を減らすことで被害を軽減する方法は、「生物的防除」の一つである。
 - ②害虫の飛来や産卵を防ぐため、野菜を防虫ネットで覆うのは「物理的防除」の一つである。
 - ③株元を銀色のポリマルチで覆って光を反射させ、アザミウマなどの害虫が近づいてこないようにするのは「耕種的防除」の一つである。
-

問 3 5 イネの種子（種もみ）についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①種子の中には、発芽する際に必要なエネルギーがデンプンとして蓄えられている。
 - ②種子の選別は比重 1.13 の塩水に入れ、塩水に浮いたものを種もみとして使う。
 - ③選別した種子を水に浸け、積算水温が 100℃を超えると、白い芽が出てくる。
-

問 3 6 イネの種まき適期についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①種もみを浸種後、芽が出る前で種子がふっくらと膨らみ始めたら種まきの適期である。
 - ②種もみを浸種後、種子がハト胸状態にふっくらと膨らみ、芽が 1 mmほど出てきたら種まきの適期である。
 - ③種もみを浸種後、芽と根が 5 mmほど伸びだした状態が種まきの適期である。
-

問 3 7 イネの中干しについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 苗の移植後、分(ぶん)げつを増やすために行なう。
 - ② 栽培の途中で、土に酸素を供給するために行なう。
 - ③ 穂が9割程度、黄金色になった収穫直前に行なう。
 - ④ 収穫後に実を乾燥させるために行なう。
-

問 3 8 カブの性質についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① カブは乾燥に強い野菜である。
 - ② カブは日照を好み、半日陰では育たない。
 - ③ カブは土壌を選ばない野菜であるが、きれいな肌にするには、砂が多めの土壌が良い。
 - ④ 発芽適温は他の野菜よりも低く、10～15℃である。
-

問 3 9 カブの栽培についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① カブは低温を好むので、12月～2月頃が最も栽培しやすい時期である。
 - ② 土の水分が急激に変化すると裂根(れっこん)が起きやすくなる。
 - ③ 白カブと赤カブとでは性質に違いがあるので、それぞれに合わせた栽培方法を取らなければうまく育たない。
-

問 4 0 コマツナの性質についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ① 連作障害が出やすい野菜である。
 - ② 夏の高温期にも病害虫が出にくい。
 - ③ 酸性土壌にも比較的強い。
-

問 4 1 コマツナの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①春と秋に種をまく場合は、白さび病が出にくい品種を選ぶと良い。
 - ②間引きの作業を楽にするためには点まき、またはすじまきが良い。
 - ③生育初期の害虫被害を防ぐために、防虫ネットや不織布を張ると良い。
 - ④乾燥を好む野菜なので灌水(かんすい)は控え、土を乾燥させながら育てると良い。
-

問 4 2 シソの種類と利用方法についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①シソには、葉が緑色の「青ジソ」と、葉が赤紫色の「赤ジソ」がある。
 - ②「青ジソ」の葉は「大葉」とも呼ばれている。
 - ③赤ジソは、生食用に使われる。
 - ④花穂ジソは、花軸についているつぼみが 30～50%ほど開花したころに収穫する。
-

問 4 3 シソの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①種まきする 2 日前に種子を水に漬けておくと発芽しやすくなる。
 - ②種をまく時は、種子に土を厚めにかけると発芽しやすくなる。
 - ③シソは日当たりがよすぎると葉が硬くなるので、やや日陰の場所で栽培すると良い。
-

問 4 4 レタスの科名で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①セリ科
 - ②キク科
 - ③アブラナ科
 - ④バラ科
-

問 4 5 レタスの性質についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①栽培にはアルカリ性の土壌が適している。
 - ②生育適温が 15～20℃の冷涼な気候を好む野菜である。
 - ③結球レタスでは、結球時に光が不足すると、結球が緩くなる。
-

問 4 6 イチゴの種類と果実についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①イチゴはバラ科の野菜である。
 - ②現在栽培されている品種の多くは、一季成りイチゴである。
 - ③福岡県で生産されている品種「あまおう」は、県外での栽培が許可されていない。
 - ④イチゴの果実は子房が肥大したものである。
-

問 4 7 イチゴの栽培についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①イチゴを定植する時は、成長点がある葉の付け根のクラウンを土に埋め込まないように注意する。
 - ②子株（子苗）を取る場合は、親株の株元から伸びたランナーの 1 番目の苗を使うと良い。
 - ③イチゴは連作障害が起こりにくいので、毎年同じ土を使って栽培できる。
-

問 4 8 エダマメの種類と性質についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①エダマメは、未成熟の状態で収穫したダイズを食用とする野菜である。
 - ②関東以南で栽培されている「だだちゃ豆」は茶豆の代表品種である。
 - ③エダマメは、暑さには強いが、寒さには弱い野菜である。
-

問49 エダマメの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①種まきした後の生育初期は鳥の害を受けやすいので、防鳥網や不織布をかけるとよい。
 - ②背が高くなると風で倒れやすくなるので、根元に土をたす「増し土」を行って倒れるのを防ぐとよい。
 - ③エダマメの追肥には実の肥大を進ませるために窒素成分を多めに施すとよい。
-

問50 エダマメと根粒菌についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①空気中にある根粒菌は葉の気孔からエダマメの体内に入り、根まで移動して根に根粒と呼ばれるこぶをつくって住みついている。
 - ②根粒菌は空気中の酸素を取り込んで、エダマメに供給している。
 - ③エダマメと根粒菌の関係のように、異なる種類の生物が互いに関係をもちながら、同じ場所に生活することを共生という。
-

日本農業検定